

地域づくり団体(二戸市)



環境問題に取り組み歩み続ける

カシオペア環境研究会

- 設立：2001年
- 主な活動地域：二戸地域
- 目的：環境における現状を理解してもらえよう情報提供や講演会、シンポジウム等を通して自分たちが日常生活の中でできる環境への配慮の方法等を啓発。
- 会長 田家 亘
- 連絡先 090-3361-4723



馬淵川近隣公園で行われた、岩手県シェアリングネイチャー協会によるネイチャーゲームの様子

●主な活動

主に二戸地域を中心に幅広い年齢層を対象として、地域の環境から地球全体の環境問題に対する意識と知識を高める「場」を提供する活動を継続。水生生物調査の実施、環境シンポジウム・環境学習発表交流会・親子環境体験学習会・地域内エコ学習の開催を行い、平成14年から小学生を対象として二戸地域の河川において水生生物による水質調査を行っている。

毎年、二戸市シビックセンターにおいて「カシオペア環境フェスティバル」を開催。県北広域振興局や二戸市と連携し地域の企業や団体の協力も得て、ネイチャーゲーム体験やスタンプラリー、ゆるキャラとの撮影会など、楽しく環境の知識を高められるイベントも行っている。



エコキャラクターコンテストで表彰を受ける子どもたち

地域づくり団体（二戸市）



30年にわたり“九戸城”を見守り支えてきた

九戸城を活かす会

- 設立：1991年
- 主な活動地域：二戸市
- 目的：九戸城の歴史や文化を広めたいという思いから発足。
- 会長 田代 博之
- 連絡先 0195-23-3641（二戸市観光協会内）



4月6日の「城の日」に木柵を寄贈した時の様子

●主な活動

団体会員として、二戸ロータリークラブ、二戸ライオンズクラブ、二戸市商工会青年部とOB会、カシオペア商工会議所、九戸城ボランティアガイドの会、二戸市議会のほか6つの町内会が参加。2012年から行われている二戸市埋蔵文化財センター主催の「発掘調査報告会」や、九戸城まつり、九戸城流鏝馬体験会などに共催や後援として関わり、イベントを盛り上げている。毎年、吞香稻荷神社で九戸政実が率いた九戸党の慰霊祭も行っている。2017年には、公益財団法人「日本城郭協会」により、九戸城が「続日本100名城」に選出。全国的な認知度も高まって、さらに多くの観光客が訪れるようになっている。

昨年の4月6日の「城の日」には、同会の30周年記念事業の一環として、大手門や二の丸の車止め用にと市に木柵20枚を寄贈した。



九戸城まつりで披露された住田町の「五葉山火縄銃鉄砲隊」によるパフォーマンス

地域づくり団体(二戸市)



戦争体験談の出版により更なる平和活動に力を注ぐ

二戸市ユネスコ協会

- 設立：1972年
- 主な活動地域：二戸市
- 目的：教育・科学・文化を通じて世界の平和と繁栄に貢献するユネスコの精神にのっとり活動。
- 会長 内沢 真申
- 連絡先 0195-23-6161

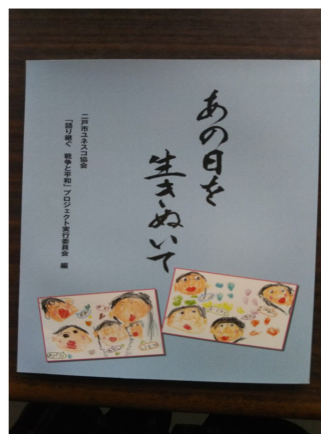


「わたしのたから・まちのたから絵画展」の表彰式の様子

●主な活動

現在は45名の個人会員と9つの団体会員により組織され、平和を願う集会イベントや絵画展の開催、世界中の子どもに教育の機会を提供する「世界寺子屋運動」を支援するため、バザーの開催や書きそんじハガキの回収を行ったりしている。2009年から毎年8月に開催している集会イベント「平和の鐘を鳴らそう！」では、子どもから高齢者まで多くの二戸市民が平和な世界を願って鐘の音を街中に響かせ、改めて戦争の悲惨さや平和の大切さをそれぞれの心に刻んでいる。2011年からは「わたしのたから・まちのたから絵画展」を開催しバザーや書きそんじハガキの回収によって、募金活動にも多大な貢献している。

2017年からは周辺のユネスコ協会と協力し、岩手県ユネスコ協会連盟の「語り継ぐ戦争と平和」プロジェクトに参加して出版準備に取り組み、二戸ロータリークラブなどの支援を受けて2020年1月、『あの日を生きぬいて』という新刊書を出版。二戸市のみならず二戸管内の小・中・高すべての学校や図書館に寄贈した。



二戸市の戦争体験談をまとめた『あの日を生きぬいて』の表紙

地域づくり団体(二戸市)



二戸の夏の風物詩「ほたる灯り」を引き継ぐ

夢あかり 交流事業実行委員会

●設立：2011年

●主な活動地域：二戸市

★過去6回にわたって行われてきた「ほたる灯り」。それを支えてきた「ほたる灯りを楽しむ会」が解散することになり、その「灯り」を消さず今後も継続させたいと設立。

●会長 舘林 克典

●連絡先 080-6049-5525 (平)



華やかに色付けされた
キャンドルたち

●主な活動

二戸の夏の風物詩となっていた花火大会が無くなった後の2004年に、二戸市主導で「馬淵川のほたる灯り」イベントが実施され、それを2006年に引き継いだことから「ほたる灯り」を楽しむ会の活動が開始。二戸市シビックセンターを会場に、軽米町出身のキャンドル作家横島憲夫さんの指導により、風船や牛乳パックを使ったキャンドルを製作し、木の枝をスタンドにして馬淵川周辺に飾った。

その後「ほたる灯り」を引き継いだのは、二戸演劇協会「雲人」のメンバーを中心とした「夢あかり交流事業実行委員会」。ゆらめきと各種ステージ発表が織りなす、癒しと華やかさに満ちた「ほたる灯り」の時間と空間を、なるべくたくさんの人たちに共有してほしいと毎年開催し、お盆に帰省した人たちの楽しみの一つにもなっていた。

※現在は、諸事情により活動を休止。



地域の小学生たちによる
キャンドル作りの様子